# 大阪薬科大学報 36

1997年（平成９年）12月26日発行
大阪薬科大学広報委員会

## 目　次

薬用植物の紹介……薬用植物園長　草　野　源次郎…1
オープンキャンパス'97を終えて……教務部長　栗　原　拓　史…2
第４回市民講座を終えて……市民講座委員長　玄　番　宗　一…4
今年の薬用植物園見学会を顧みて……薬用植物園長　草　野　源次郎…5
第15回公開教育講座を終えて……公開教育講座委員長　掛　見　正　郎…6
平成10年度入学試験概要……7
大阪薬科大学新キャンパス整備事業募金について……8
関西薬連・全薬大会結果報告……10
各課だより……11
平成８年度卒業者の進路状況等……就職部長　森　　逸　男…13

薬用植物の紹介

# センナ *Cassia angustifolia*（マメ科）

教授　草野 源次郎

マメ科のアフリカ原産の常緑性低木で，樹高は約１mである。アラビアからインドのチンネベリー地方で栽培され，チンネベリーセンナと呼ばれる。葉は互生し，偶数羽状複葉で，小葉は４～10対つく。開花前に採取し乾燥した小葉をセンナと呼び，緩下剤とする。樹高，葉の大きさが共に小型で，小葉が細いアレキサンドリアセンナ Cassia acutifolia もセンナとして利用される。アントラキノン類やセンノシド類を含み，後者が主な緩下剤成分である。

学名の Cassia はケイヒ *Cinnamomum cassia* から転用されたもので，元は皮をはぐという意味の gasta というヘブライ語に由来するという。ケイヒは樹皮を利用するので，その学名の小種名 cassia はふさわしい。しかし，マメ科の本属に転用された理由はわからない。さらに，最近になって，これまでの *Cassia* 属はナンバンサイカチ属（*Cassia*），センナ属（*Senna*），カワラケツメイ属（*Chamaecrista*）に分類され，学名の由来の説明が難しくなっている。センナの学名も近い将来，Senna angustifolia になると思われる。

アカシアの名はよく知られている。Acacia 属で，刺のある（akantha）マメ科の植物でアラビアゴムノキやアセンヤクノキなどが含まれる。ニセアカシア（ハリエンジュ）をアカシアと呼ぶことがあり，「アカシアの並木道」などは，ニセアカシアのことである。

各地の民族が独自にアントラキノン類を含む植物を不老長寿の薬にしてきた。南アフリカのアロエ，北アフリカ～ヨーロッパ～インドのセンナ，中国のダイオウやカシュウ，東南アジアのケツメイ，アメリカ南部のエビスグサやハブソウ，南アメリカのカスカラサクラダやフラングラなどである。病気は体に入った毒によって起こされると考え，毒を下す下剤が重要視されたためと想像される。また，便秘は体調を崩し，多くの病気の原因になるので，緩やかな下剤は健康の維持，増進に役に立つと思われる。特に高齢者の慢性便秘は禁物で，緩下剤を愛用する人が長生きすることに，気付いたのであろう。

これらの薬用植物は大昔からのものである。多くの民族が文字を使いはじめたころには，上記の植物のほとんどは利用されていたことが，最古の記録に残されている。現在でも重要な保健薬であり，薬としての寿命がたいへん長い。

センナの緩下作用の本体はセンノシド類であるが，これらはアントラキノン類の還元性の２量体である。腸内で腸内菌により還元と加水分解を受け，アンスロンに変化して強い作用を示す。アンスロンは大腸で水分の再吸収を抑え，大腸壁の水分保持量を増し，さらに腸の蠕動運動を促し，下剤の作用を示す。加水分解には Streptococcus faecium 由来の特異な酵素が関与し，他の腸内菌や動物由来の酵素は作用しない。還元は多くの腸内菌が行う。センナが効く人と効かない人がいるのは，これらの特異性による。

センナにセンノシド類と共に含まれるアントラキノン類のうち，レインもおもしろい成分である。腸内菌の Bacterioides fragilis に対する抗菌作用が強い。この腸内菌はある種の胆のう炎に関与していると考えられている。レインを含むダイオウを配合する漢方薬が黄疸に効くのは，胆のうに入り込んで悪さをする腸内菌をコントロールすることが一つの理由であると考えられている。また，レインをアセチル化したものがダイアセレンで，骨関節炎の治療薬として臨床試験が進められている。

本学の薬用植物園にはエビスグサ Cassia obustifolia，ハブソウ C. occidentalis，カワラケツメイ C. nomame，コバノセンナ C. coluteoides などが植えられている。チンネベリセンナを入手することは長年の悲願であった。この秋に薬博物館の薬用植物園を訪れ，白井園長からポットに植えられている苗を頂いてきた。写真はその時圃場で開花していたものである。来年の９月頃には，本学の薬用植物園でも，写真のようなセンナの花を見ることができることを楽しみにしている。

# オープンキャンパス '97 を終えて

教務部長　栗　原　拓　史

8月7日，大雨警報発令のなかで，第1回目のオープンキャンパス'97の朝を迎えた。午前8時頃に注意報に変わり，昼前には雨もあがって僅かに日もさし始めたのは幸いであった。心配した出足も悪くなく，最終的に172名の参加者があった。

午後1時からほぼ昨年通りの流れで，岡学長の挨拶に始まり，大学紹介ビデオ上映，入試概要説明，就職状況説明の後，学内見学と模擬実験の見学及び体験へと続いた。案内は大学院生が引き受けてくれたが，彼らには大変な苦労をかけてしまった。一人で十数名の高校生を引率しながら説明し，三つの模擬実験を効率よく回り，決められた時間内に連れ帰るのだから大変である。事前に私からの院生の皆さんへの説明と打ち合わせ不足が原因であり，院生諸君には申し訳なかったと同時に，第2回目への大きな反省点であった。高校生の中にもその点を指摘し，不満を訴える声も聞かれた。

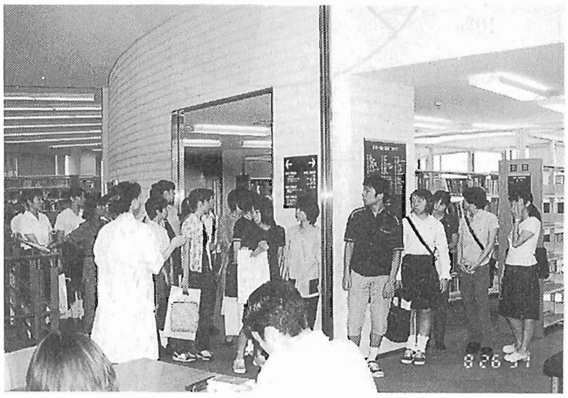
第2回目の8月26日は見事に晴れ渡り，残暑厳しい中でのスタートであった。参加者は217名を数え，ご父兄も加えれば230名を越えていたように思われる。1回目の苦い経験から，事前に「高校生の誘導マニュアル」を作成し，院生に充分に説明する機会を持ったため，かなりスムーズに運び，引率する院生からも好評であった。

2回のオープンキャンパスを通じて感じたことをまとめてみよう。昨年より参加者が増加したことは有り難かったが，やはり圧倒的に大阪府下からの参加者と女子高生（>80%）が多く，その多くがポスター，パンフレットでこのイベントを知ったようである。また，参加したイベントの印象はの問いかけに，約8割が満足との回答（アンケート集計表参照）を得，ホッとした気持ちである。模擬実験（1.これはすごい！薬の効用　2.コンピュータグラフィックスの世界をのぞいてみよう　3.愛犬家の必需品，殺フィラリア剤がつくれる）には大きな関心があったようで，今年もこの企画は成功であった。模擬実験を含む学内見学には，さすがに高校生も疲れを感じているようであり，次年度は模擬実験の内容を少しスリム化したりして，短縮化を図る必要を感じた。個別相談は予想外に低調であり，高校生本人よりむしろご父兄が熱心で，いろいろ質問されていた。次年度は担当者を減らして，最初から自由に受け付ける方が良さそうである。

一高校生の偽らざる感想が印象的であった，“オープンキャンパスに来ているのは女性が多いので，やはり薬学部は女性に人気のある学部だと思った”。

とにかく，今年も成功裡にオープンキャンパスのイベントを終えることが出来た。学内案内では多くの大学院生に，模擬実験ではそれぞれ関連する先生方と院生に，また二度にわたり薬用植物の運搬と展示をして頂いた草野教授，喜多助手，芝野助手，さらには設営その他事細かな準備に奔走された事務局の皆様のお陰であり，心から感謝いたします。

殺フィラリア剤を作る模擬実験を熱心に見ている参加者。



図書館の説明を聞いている参加者。

# オープン・キャンパス '97 アンケート集計表

◎アンケート回収：312(80.2%)/参加者：389名

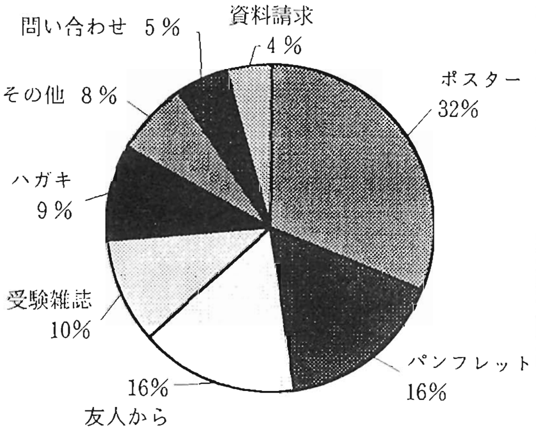
《第１回：８月７日（木）・ 第２回：８月26日（火)》

【都道府県・性別・学年】　　　　（男 71 名　女 318 名）

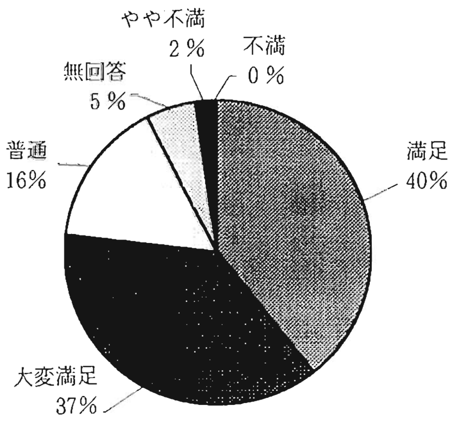
| | 大阪府 | | 兵庫県 | | 京都府 | | 奈良県 | | 滋賀県 | | 和歌山県 | | 三重県 | | その他 | | 小計 | | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 高１ | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 高２ | 1 | 14 | 0 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 25 | 27 |
| 高３ | 28 | 84 | 3 | 38 | 1 | 16 | 2 | 15 | 0 | 6 | 2 | 4 | 0 | 4 | 0 | 8 | 36 | 175 | 211 |
| 高卒受験生 | 7 | 51 | 0 | 2 | 0 | 6 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 63 | 70 |
| その他 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 小　計 | 36 | 150 | 3 | 46 | 2 | 23 | 2 | 19 | 0 | 8 | 2 | 5 | 1 | 4 | 1 | 10 | 47 | 265 | 312 |
| 総　計 | 186 | | 49 | | 25 | | 21 | | 8 | | 7 | | 5 | | 11 ※ | | 312 | | |

（※ 広島県４名　愛媛県３名　岡山県１名　香川県１名　静岡県１名　沖縄県１名　計11名）

【「オープン・キャンパス」は何で知りましたか？】
（複数回答有り）




【参加したイベントの印象は？】



# 第４回市民講座を終えて

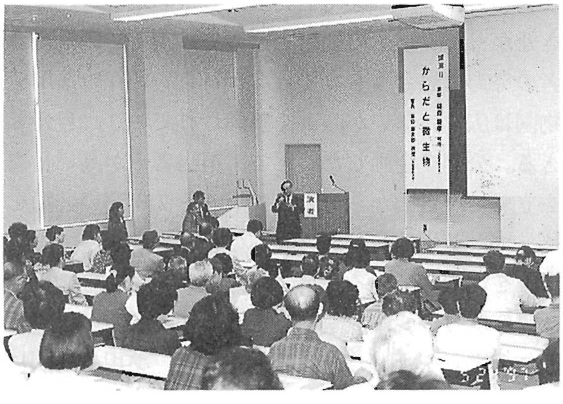
市民講座委員表長　玄　番　宗　一

高槻に移転後２回目の市民講座を，５月24日（土）に本学講堂にて開催することができました。『くすりの相談室』と『薬用植物園見学会』も，昨年と同様に同時開催しましたが，今回の新しい試みとして、薬用植物園のご協力により，受付前の広い空間に鉢植えの薬草を説明文と共に展示することができました。『市民講座』は文字どおり市民への『健康とくすり』の啓発サービスです。広報活動の結果，どれほどの参加者に恵まれるのかは，当日の開会時までたいへん気掛かりなことです。今回の参加者数は約240名であり，昨年に比べて減少しましたが，学内からの出席者を加えて講堂内はほぼ埋まり，一安心しました。広報活動に劣らず重要なことは，講演内容と演者の選定です。本学から稲森善彦教授に『からだと微生物』を，大阪医科大学の東郁郎教授に『成人の目と健康』をご講演頂きました。時の話題と言っても過言ではないでしょう。

市民の参加者アンケートから次のようなことが分かります。まず，参加者の約60％は女性であり，その70％は50～60代の女性です。男性の参加者は全体の40％ですが，その55％を60代が占めます。言い換えますと，男女を併せて約70％が50～60代の参加者です。年代層から推測できますように，参加者の65％は無職です。特に，漢方薬，成人病や老年期疾患のこと，そして薬の副作用などについて関心が深いようです。市民講座を知ったメディアとして，新聞，広報たかつき，ポスター及び知人が80％を占めますので，これらによる広報活動の重要性が伺えます。

また，開催回数をもっとふやしてほしいとの希望があるようです。１回分の限られた予算や行事日程を考慮しながら，年に２回の開講が可能かどうかについて，検討を進めるつもりです。

最後になりましたが，共催してくださいました大阪府薬剤師会，大阪府病院薬剤師会，高槻市薬剤師会および大阪薬科大学同窓会，ならびに後援くださいました大阪府，高槻市および高槻市教育委員会に厚くお礼申し上げます。




『成人の目と健康』についてお話し下さる演者の東郁郎先生。壁面に稲森善彦先生の『からだと微生物』の講演案内。

会場前に展示された薬草とその説明に熱心に見入る参加者。

# 今年の薬用植物園見学会を顧みて

薬用植物園長　草　野　源次郎

キャンパスが高槻市に移ったのを機会に，薬用植物園の公開を試みた。植物に薬学情報をからめて公開し，薬用植物園が効果的な情報発信基地になることを願っての試みである。

昨年度は5，6，7，9，11月に各1回，本年度は4，5，6，7，9，10，11月の第3土曜日を公開日とした。昨年は物珍しさも手伝ってか，毎回，参加者は30～50名あり，熱心に見学いただいた。大学祭の折に，多くの希望者があり，急遽案内役を用意したほどであった。昨年度の経過から考えて，本年度も毎回50名ほどの参加者を予想していたが、市民講座の折の5月の公開を除いて，今年前半の参加者は少なく，10～30名程度であった。

しかし，平日や日曜日に松原市民65名の団体や同窓会のOB達，熱心な市民グループが予約の見学をした。さらに，9，10，11月の公開日には参加者は多くなり，特に10，11月には高槻市の市民グループ，EM活用サークルの2班各30数名の団体参加があり，大いに盛り上がった。また，大学祭の折には薬用植物園の公開を企画し，土産を用意したところ，参加者は予想を大きく上回り，4回分の土産は1回で無くななった。

少ない案内人で多くの参加者に満足してもらうのは難しい。それでも，日頃から喜多さんらが精根込めて手入れしており，植物は生き生きとしている。まさに，植物のお蔭で多くの参加者に感銘を与えている。参加者の十数名は常連の客になっている。薬用植物園の公開では案内人と参加者が心を通わすことが必要で，熱心な常連の参加者が役割を果たしてくれる。

薬学情報は案内人の説明とラベルで提供しているが，ラベルは既製品を購入すると，小形のものでも1個が2000円ほどする。情報量も少なく，内容も乏しい。そこで，本園では薬用植物学の講義の補填を兼ねて，自製のラベルを用意している。A4版の大きさで，1個200円で製作している。200個を目標にしているが，現在半数が薬用植物園に設置されている。5年間の耐用年数を期待している。

ラベルの原稿はパソコンに保存しており，鉢植えの展示会の折などに，一部解説内容を変更して，植物の写真などと共に展示している。市民講座，オープンキャンパス，都市緑化センター及び交野市の展示会などで好評をはくしている。薬用植物園の自製ラベルを200個にすること，展示会用の写真と解説文を増やすことは来年度に目標を達成する。

宮城県医師会が16年前に「医療の言い伝え1000題」という本を出版した。宮城県地域婦人団体連絡協議会が会員57000人から集めた「医療に関する言い伝え」を整理し，1000題にまとめたものに，県医師会が解説を試みたものであった。その「言い伝え」の約半数は薬用植物に関するもので，小生が解説を担当した。その約75％は「言い伝え」が理にかなっており，間違っていると指摘したのは約10％であった。薬用植物以外の薬の言い伝えは3題であったので，薬情報を薬用植物にからめて発信することの重要性を痛感した。その思いは現在でも変わっていない。

松原市では薬用植物園がキャンパスから離れていたこともあって，薬用植物園の日常活動が人目につき難かった。学生の利用も含めて，園の活用は担当者の努力に見合うものではなかった。現在の薬用植物園は広くはないが，よく整備されており，自慢できる。公開を企画したことで，担当者らが高い目標を立てて，日頃から努力している。2年間の公開を終って，薬学情報基地としての目標に向かってファイトを燃やしている。

来年度はテレビ放映などを通して，名所の一つとして名乗りを上げたいと考えている。薬用植物園に人々の関心が集まることを通して，薬学を学ぶ学生達の誇りが一層高まることも祈っている。

# 第15回公開教育講座を終えて

公開教育講座委員長　掛　見　正　郎

第15回公開教育講座は10月11日（土），18日（土），25日（土）の３日間，本学講堂において「高度医療社会での薬剤師の役割(2)」というテーマで開催されました。昨年から続けているこのテーマは，高度医療，高齢化社会の到来に際し，「医療における薬の役割」を根本から見直し，その中で薬剤師はどう関わって行くべきかを共に考えようとするものです。本年は下記の通り，二つのサブテーマ「脳の科学と疾患」，「医療と情報」を設け，国内外の医学・薬学の分野で活躍されている６人の先生に講演をお願い致しました。

10月11日（土）
　脳の科学と疾患１
　　「気分と脳科学」
　　　関西医科大学教授　生理学第２講座
　　　　玄番　央恵
　脳の科学と疾患２
　　「パーキンソン病の病態と薬物療法」
　　　清恵会病院副院長　木村　文治
10月18日（土）
　医療と情報１
　　「インフォームド・コンセント──日本になじむ六つの提言──」
　　　京都女子大学教授
　　　（京都大学名誉教授医学部）　星野　一正
　医療と情報２
　　「今回の薬事法等の改正と薬剤師の法的責任」
　　　三輪亮寿法律事務所 弁護士　三輪　亮寿
10月25日（土）
　脳の科学と疾患３
　　「アルツハイマー病の病態と治療薬の開発」
　　　名古屋大学教授 医学部附属病院薬剤部
　　　　鍋島　俊隆
　医療と情報３
　　「薬剤疫学による医薬品臨床評価と副作用モニター」
　　　東京大学助教授 医学部薬剤疫学講座
　　　　久保田　潔

本年は，３日間とも天候にも恵まれ，講師の先生方も極めて熱心に講演され，また参加者も積極的に質問されるなど，比較的活気のある公開教育講座であったと思っております。これも座長の先生方，あるいは広報活動その他でご協力を戴きました本学職員の方々，会場でスライド係，会場係など裏方として働いて頂きました教職員，大学院生，４年次生など多くの方々のご支援の賜と，深く感謝いたしております。

さて，これまでの公開教育講座への参加者数は別表の通りとなっておりますが，本学が高槻市へ移転した昨年から，参加者数がやや減少していることがわかります。この原因は，本学の地理的な条件ばかりでなく，他大学での公開教育講座，日本薬剤師研修センターの講習会，日本病院薬学会シンポジウムなど競合する講演会が，数年前とは比べものにならないくらい増加したことが挙げられます。最終日に行ったアンケートでも，大多数の参加者が他大学等の公開教育講座を受けたことがあると回答しています。この傾向は今後さらに強まることが予想され，本学の公開教育講座が生き残るためには，社会の要求に適った，より質の高い講座を提供すること，多くの人が参加しやすい条件を整備することが必要であると考えています。（因みに，本年の有料参加者数は177名，３日間延べ参加者数は373名，修了証発行枚数84枚，日本薬剤師研修センター単位（２単位）配布数303枚，大阪府薬剤師会単位（10単位）配布数121枚などでした。）

公開教育講座委員会では，本年度の講座終了後，これまで数回の委員会を開き今後の検討に着手しております。これまで年１回３日間であった開催を，年４回（５月，７月，10月，翌年２月の第３土曜日）各１日の開催へ変更することを考えております。また，本学の公開教育講座の特徴は他大学出身の参加者が極めて多いこと（全参加者の47％），言い換えれば本学出身者の参加が比較的少ないことでしたが，今後は本学出身者の参加を積極的に図って参りたいと考えております。これらに関し，皆様方からのご意見を賜りたく存じます。

| 公開教育講座 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開催年 | 1983年 | 1984年 | 1985年 | 1986年 | 1987年 | 1988年 | 1989年 | 1990年 |
| 開催日数（日） | 6 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 有料参加者数 | 280 | 120 | 86 | 85 | 57 | 59 | 36 | 44 |
| 延べ参加者数 | — | — | — | — | — | — | 109 | 104 |
| 修了証発行枚数 | 198 | 100 | 68 | 58 | 19 | 43 | 27 | 33 |

| 公開教育講座 | 9回 | 10回 | 11回 | 12回 | 13回 | 14回 | 15回 | 16回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開催年 | 1991年 | 1992年 | 1993年 | 1994年 | 1995年 | 1996年 | 1997年 | 1998年 |
| 開催日数（日） | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 有料参加者数 | 34 | 81 | 210 | 323 | 292 | 192 | 177 | |
| 延べ参加者数 | 82 | 184 | 503 | 774 | 767 | 397 | 373 | |
| 修了証発行枚数 | 30 | 42 | 125 | 180 | 208 | 92 | 84 | |

終わりに臨み，本年も共催して頂きました(財)日本薬剤師研修センターに御礼申し上げますと共に，後援頂きました(社)大阪府薬剤師会，ならびに開催にご協力頂きました大阪府病院薬剤師会，兵庫県病院薬剤師会，京都府病院薬剤師会，大阪薬科大学同窓会に深謝いたします。

## 平成10年度　入　学　試　験　概　要

大阪薬科大学

| | 推薦入試（一般公募制）（S方式） | センター試験利用入試（C方式） | 一般入試（G方式） |
|---|---|---|---|
| 募集人員（男・女） | 薬学部　計70名 | 薬学部 薬学科 10名、製薬学科 10名 計20名 | 薬学部 薬学科 75名、製薬学科 75名 計150名 |
| 出願期間 | H.9.11.1(土)～11.11(火) | H.10.1.7(水)～1.16(金) | H.10.1.7(水)～1.30(金) |
| 入学試験日 | H.9.11.16(日) | 〔H.10.1.17(土)～1.18(日)〕 | H.10.2.6(金) |
| 合格発表日 | H.9.12.1(月) | H.10.2.5(木) | H.10.2.13(金) |
| 入学手続締切 | H.9.12.19(金)　一括方式 | 〔1次〕H.10.2.23(月) 2段階方式<br>〔2次〕H.10.3.23(月) | 〔1次〕H.10.2.23(月) 2段階方式<br>〔2次〕H.10.3.23(月) |
| 試験場 | | | 本学・大阪北予備校 |
| 試験科目 | 〔外国語〕英語 90分 100点<br>〔小論文〕 90分 100点<br>（200点満点） | 〔数学〕数学Ⅰ・数学A 100点<br>数学Ⅱ・数学B 100点<br>〔外国語〕英語 200点<br>〔国語〕国語Ⅰ，国語Ⅰ・Ⅱ から1科目選択 200点<br>〔理科〕化学ⅠB、生物ⅠB、物理ⅠB から1科目選択 100点×2<br>（800点満点） | 〔数学〕数学Ⅰ 90分 100点<br>数学Ⅱ<br>数学A（数と式，数列）<br>数学B（ベクトル）<br>〔外国語〕英語Ⅰ 90分 100点<br>英語Ⅱ<br>リーディング<br>ライティング<br>〔理科〕化学ⅠB 90分 100点<br>化学Ⅱ<br>（300点満点） |
| 入学検定料 | 35,000円 | 20,000円 | 35,000円 |

# 大阪薬科大学新キャンパス整備事業募金について

平成7年2月から始りました大阪薬科大学新キャンパス整備事業寄付金の募金活動は，多数の企業，同窓会，父兄会，本学関係者の皆様のご協力により，目標額を達成して平成9年7月25日に無事終了いたしました。ご寄付をいただきました皆様には改めて厚くお礼申し上げます。

ここに，募金委員長のご挨拶，募金結果等につきましてご報告いたします。

謹啓　時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて，このたびは大阪薬科大学新キャンパス整備事業募金に際し，早速趣旨に御賛同いただき別紙募金状況のとおり皆様方から多数の御寄付を賜り，お陰をもちまして募金目標額を達成することができました。ここに厚く御礼申し上げます。

お寄せいただきました御芳志は，大学の今後の発展を支援するために活用させていただきました。

本委員会への皆様方の御協力に対し心から感謝申し上げます。

末筆ながら皆様方の益々の御健勝をお祈り申し上げます。

敬具

平成9年7月

大阪薬科大学新キャンパス整備事業募金委員会
委員長　藤原冨男
（大日本製薬株式会社 代表取締役会長）

## 大阪薬科大学新キャンパス整備事業募金状況

1．募金の名称　大阪薬科大学新キャンパス整備事業寄付金
2．募金の目標額　3億円（個人 2億円，法人 1億円）
3．寄付件数及び金額　（平成9年7月25日迄入金分）

| | | |
|---|---|---|
| 合計 | 3,763件 | 31,872.73万円 |
| 内訳 | | |
| ①個人 | 3,558件 | 13,937.73万円 |
| 同窓会 | 2,728 | 8,751.73 |
| 父兄会 | 714 | 2,701 |
| 教職員・他 | 116 | 2,485 |
| ②法人 | 205件 | 17,935万円 |

## 寄付企業御芳名一覧

（敬称省略　五十音順）

| | |
|---|---|
| 旭化成工業㈱ | 旭硝子㈱ |
| アサヒビール㈱ | アストラジャパン㈱ |
| 天藤製薬㈱ | ㈱アンカー・サービス |
| ㈱石井理化機器製作所 | ㈱イスルギ |
| ㈱イチネン | ㈱イトーキ |
| 稲畑産業㈱ | ㈱イレブン |
| 岩城製薬㈱ | ㈲上西工業所 |
| エーザイ㈱ | エスエス製薬㈱ |
| 大阪ガス㈱ | 大塚製薬㈱ |
| ㈱大塚製薬工場 | ㈱大林組 |
| 大林道路㈱大阪支店 | 小野薬品工業㈱ |
| 科研製薬㈱ | ㈱柏商会 |
| 鐘紡㈱ | ㈱唐崎屋 |
| 関西電力㈱ | 北尾書籍貿易㈱ |
| キッセイ薬品工業㈱ | ㈱紀伊國屋書店 |
| ㈱紀陽銀行大阪支店 | 杏林製薬㈱ |
| 協和醗酵工業㈱ | 麒麟麦酒㈱ |
| ㈱きんでん大阪支社 | きんや文具 |
| ㈱クボタ | 久保田器械店 |
| グレラン製薬㈱ | クロマトサイエンス㈱ |
| ㈱経営サービスセンター | ㈱ケー・エー・シー |
| 興和新薬㈱ | 五協産業㈱ |
| 小城製薬㈱ | 小太郎漢方製薬㈱ |
| 佐藤製薬㈱ | ㈱讃岐田製作所 |
| 沢井製薬㈱ | 三機工業㈱ |
| 三共㈱ | ㈱サンケン・エンジニアリング |
| ㈱三晃空調大阪本店 | サンスター㈱ |
| 参天製薬㈱ | サントリー㈱ |
| 三宝電機㈱ | ㈱サンユー大阪支店 |
| 三陽電機商事㈱ | ㈱三和カードサービス |
| ㈱三和銀行 | 塩野義製薬㈱ |
| シェリング・プラウ㈱ | ジェクス㈱ |
| ㈱滋賀銀行 | 清水実験材料㈱ |
| 昭和薬品化工㈱ | ㈱新広 |
| 新日本薬品㈱ | 親和物産㈱ |
| 住銀リース㈱ | 住友海上火災保険㈱ |
| ㈱住友銀行高槻支店 | ㈱住友クレジットサービス |
| 住友信託銀行㈱ | 住友生命保険㈹ |
| 住友製薬㈱ | 住友電気工業㈱ |
| 住友電設㈱ | 住友ベークライト㈱ |
| ㈱セブン化学 | 千寿製薬㈱ |
| 全国信用金庫連合会 | 全星薬品工業㈱ |
| ㈱大氣社大阪支社 | 大昭工業㈱ |
| 大正製薬㈱ | 大鵬薬品工業㈱ |
| 大一仮設㈱ | ㈱第一勧業銀行 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第一製薬㈱ | ㈱大協建材 | 日本メジフィジックス㈱ | 日本モンサント㈱ |
| 大建工業㈱ | ダイコク薬品㈱ | バイエル薬品㈱ | ㈱パウレック |
| ダイダン㈱ | ダイナボット㈱大阪 | 浜理薬品工業㈱ | 萬有製薬㈱ |
| ダイナボット㈱東京 | 大日本製薬㈱ | 菱山製薬㈱ | ㈱日立製作所 |
| ㈱大和銀行 | 大和証券㈱ | 日立冷熱㈱ | ㈱百十四銀行 |
| 高山運輸建設㈱ | 武田薬品工業㈱ | ヒロセ㈱大阪本店 | ファイザー製薬㈱ |
| ㈱竹中工務店 | 竹林塗装工業㈱ | フクダ電子南近畿販売㈱ | 藤沢薬品工業㈱ |
| ㈱立石春洋堂 | 田辺製薬㈱ | 富士造園土木㈱ | 藤本製薬㈱ |
| 中外製薬㈱ | 千代田化工建設㈱ | 扶桑薬品工業㈱ | 二葉工業㈱ |
| ㈱築柴 | 都築電気㈱ | フタバ興業㈱ | プラス㈱大阪支店 |
| ㈱ツムラ | 鶴原製薬㈱ | ㈱貿易広告社 | 北陸製薬㈱ |
| 帝国臓器製薬㈱ | 帝人㈱ | 堀井薬品工業㈱ | ㈱松坂屋 |
| ㈱東海銀行 | 東京田辺製薬㈱ | 松下電器産業㈱ | ㈱マツダアンフィニ関西 |
| 東伸産業㈱ | 東信石油㈱ | 松村建設㈱ | 丸石製薬㈱ |
| 東洋シポデック㈱ | 東洋ビルサービス㈱ | マルセ | 丸善㈱ |
| 東和薬品㈱ | 同和火災海上保険㈱ | マルホ㈱ | ㈱マンダム |
| 都市クリエイト㈱ | 鳥居薬品㈱ | ㈱三重銀行 | 三菱自動車工業㈱ |
| 富山化学工業㈱ | ㈱内外テクノス | ㈱ミドリ十字 | ㈱美濃ラボ |
| 長瀬産業㈱ | 永田印刷㈱ | ミヤマ㈱ | ㈲御幸の漢方 |
| なだや | 南海電気鉄道㈱ | ㈱ミリオンカード・サービス | 明治製菓㈱ |
| 日製産業㈱関西支店 | ㈱ニッタンサービスセンター大阪 | 持田製薬㈱ | ㈱模範薬品研究所 |
| 日本医薬品工業㈱ | 日本化薬㈱ | 森下ルセル㈱ | 八洲薬品㈱ |
| 日本グラクソ㈱ | 日本合成化学工業㈱ | 山一證券㈱ | ㈱ヤマシタ |
| 日本シェーリング㈱ | 日本事務器㈱大阪支店 | 山之内製薬㈱ | 山発産業㈱ |
| 日本商事㈱ | 日本新薬㈱ | 吉富製薬㈱ | ㈱リガク大阪支店 |
| 日本生命保険(相) | 日本製薬㈱ | 龍宝堂製薬㈱ | ㈱ロイヤルホテル |
| 日本臓器製薬㈱ | 日本たばこ産業㈱ | 六陽製薬㈱ | ロート製薬㈱ |
| 日本チバガイギー㈱ | 日本粉末薬品㈱ | ローヌ・プーランローラー㈱ | わかもと製薬㈱ |
| 日本ヘキスト・マリオン・ルセル㈱ | 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ | 和光純薬工業㈱ | 合計 205社 |

謹啓　時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本学のために種々御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて，このたびの本学新キャンパス整備事業に際しましては，募金委員会の多大な御尽力により多額の御寄付をいただき誠に有り難うございました。お寄せいただきました御芳志は，別記のとおり建設・設備費の一部として使用させていただきました。

お陰をもちまして昨年四月に全面移転を完了し，本年三月には新キャンパス最初の卒業式を新体育館で挙行することができました。これらはひとえに皆様方の御協力の賜と深く感謝いたしております。

これからも、なお一層社会の要請に応えうる人材の育成と学術の発展に寄与してまいり、御芳志に添いたいと思いますので，今後ともよろしくお願い申し上げます。

先ずは略儀ながら書面をもって御礼申し上げます。

敬具

平成９年７月

学校法人 大阪薬科大学理事長　大村栄之助
大阪薬科大学長　岡　源郎

## 大阪薬科大学新キャンパス整備事業概要

新キャンパス　高槻市奈佐原４丁目20番１号　59,130㎡

| 建物等 | 構造等 | 面積 |
|---|---|---|
| 研究棟<br>（ＲＩセンター・実験動物センター・中央機器センター） | ＳＲＣ　Ｂ１　６Ｆ | 9,946㎡ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 講義・実習棟 | SRC | 4F | 7,541㎡ |
| 本部・図書館棟 | RC | 4F | 4,010㎡ |
| 体育館（柔道・剣道場） | RC+S | 2F | 2,886㎡ |
| 大学会館 | RC | 2F | 2,205㎡ |
| 学生クラブハウス | S | 3F | 1,255㎡ |
| 弓道場（建屋） | S | 1F | 115㎡ |
| 音楽練習室 | RC | 1F | 102㎡ |
| 薬用植物園（温室・管理室175㎡） | | | 4,995㎡ |
| グラウンド | | | 120m×74m |
| テニスコート | | | 4面 |
| 設備機器・その他 | | | |

建設・設備費　合　計　90億3千万円

## 「関西薬連・全薬大会」結果（平成9年度）

◎関西薬連

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| バレーボール部 | 男子 | 6位 | | 女子　1位 | | |
| 卓球部 | 男子 | 5位 | | | | |
| | 女子 | 3位 | 女子シングルス | 1位・平上② | 女子ダブルス | 2位・平上②・堀井② |
| バドミントン部 | 男子 | 4位 | | 女子　8位 | | |
| 硬式野球部 | | 4位 | | | | |
| 硬式庭球部 | 男子 | 6位 | | 女子　3位 | | |
| 陸上競技部 | 総合 | 2位 | | | | |
| 男子 | トラック | 2位 | 4×100mR | 2位 | 4×400mR | 2位 |
| | | | 100m | 2位・吉田③ | 800m | 2位・柳④ 3位・熊代② |
| | | | 400m | 2位・塚本④ 3位・石川① | 1500m | 3位・熊代② |
| | フィールド | 2位 | 三段跳び | 1位・佐々木③ | 走り高跳び | 3位・木下① |
| | | | 走り幅跳び | 1位・佐々木③ 2位・塚本④ | 円盤投げ | 2位・小川④ 3位・熊代② |
| | | | 砲丸投げ | 3位・山下① | | |
| 女子 | MVP | 野坂③ | | | | |
| | トラック | 2位 | 4×100mR | 2位 | 100m | 2位・野坂③ |
| | | | 100mH | 2位・寺下② 3位・野坂③ | 400m | 3位・野坂③ |
| | フィールド | 1位 | やり投げ | 2位・谷本① | 走り高跳び | 1位・野坂③ 2位・西田② 3位・足立② |
| | | | 走り幅跳び | 1位・野坂③ 2位・寺下② 3位・高② | | |
| | | | 円盤投げ | 3位・野坂③ | 砲丸投げ | 2位・野坂③ |
| 柔道部 | 男子 | 2位 | 男子有段 | 1位・神農① 2位・伊藤④ | 男子無段 | 1位・増子① 2位・瀬戸② |
| | | | 女子個人戦 | 3位・木下② | | |
| 剣道部 | 男子 | 4位 | | 女子　4位 | | |
| 軟式庭球部 | 男子 | 1位 | 男子個人戦 | 2位・田中③・山中② | | |
| | 女子 | 6位 | 女子個人戦 | 3位・内藤④・横浜④ | | |
| バスケットボール部 | 男子 | 3位 | | 女子　3位 | | |
| サッカー部 | | 3位 | | | | |

◎全薬

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卓球部 | 男子 | 5位 | | | | |
| | 女子 | 4位 | 女子シングルス | 1位・平上② | 女子ダブルス | 3位・平上②・堀井② |
| 軟式庭球部 | 男子 | 1位 | 男子個人戦 | 1位・田中③・山中② | | |
| | 女子 | 2位 | | | | |
| 剣道部 | 男子 | 1位 | | | | |
| | 女子 | 1位 | 女子個人 | 2位・中居② | | |
| バスケットボール部 | 男子 | 2位 | | 女子　1位 | | |

注）○内は学年，Rはリレー，Hはハードル

## 学生課だより

○「大阪薬大前」バス停の一元化について

本学正門前の道路は，トラック・乗用車・バイク等車両の通行が増大し，道路横断時の交通事故が極めて憂慮されていました。また，「大阪薬大前」バス停が，２ケ所に分離していたため，二元ダイヤによる乗車時の混乱がありました。

このため本学では，かねてより高槻市に「大阪薬大前」バス停（薬用植物園側へ）の一元化を要望してきましたが，９月18日（木）から実施の運びとなりました。

本学南側のバス停は，「大和北」に改称され，対面にも同名のバス停が設けられますが，事故防止と乗り降りの円滑化のため，今後は必ず「大阪薬大前」バス停を利用してください。

○学生証の更新について

緑色の学生証（平成８年及び平成６年以前の入学）の有効期限は，平成10年３月31日までとなっています。このため新年度に向けて学生証更新の手続きが必要になります。更新時期・手続きは，学生部の掲示板で案内しますので，見落とさないようにしてください。

○奨学生状況

1. 日本育英会

平成９年10月１日現在

| 区分 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | M1 | M2 | D1 | D2 | D3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1種 | 14 | 21 | 25 | 28 | 7 | 6 | 0 | 1 | 1 | 103 |
| 2種 | 17 | 23 | 24 | 27 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 95 |
| 計 | 31 | 44 | 49 | 55 | 9 | 8 | 0 | 1 | 1 | 198 |

2. その他の育英・奨学会

| 区分 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 大学院 | 計 | 給・貸 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小野奨学会 30,000円 | 1 | 1 | 1 | 1 | — | 4 | 給 |
| 大東育英会 25,000円 | 1 | 0 | 0 | 0 | — | 1 | 給 |
| 朝鮮奨学会 25,000円 | 0 | 0 | 2 | 0 | — | 2 | 給 |
| 大阪府育英会 26,000円 | 2 | 4 | 4 | 2 | — | 12 | 貸 |
| 東大阪教育委員会 17,000円 | 1 | 1 | 0 | 0 | — | 2 | 貸 |
| 岡山県育英会 44,000円 | 0 | 1 | 1 | 0 | — | 2 | 貸 |
| 岩国市 20,000円 | 0 | 0 | 1 | 1 | — | 2 | 貸 |
| 育友会奨学会 40,000円 | 8 | 0 | 1 | 2 | — | 11 | 貸 |
| 電通育英会 25,000円 | 0 | 0 | 1 | 0 | — | 1 | 貸 |
| 合計 | 13 | 7 | 11 | 6 | | 37 | |

## 総務課だより

（人事）

併　任（平成９年８月25日付）
　施設課長　河野　光次（事務局長）
教務・学生課に関する特命事項担当
　（平成９年10月１日付）
　事務局次長　北氏　明正
昇　任（平成９年10月１日付）
　課　長　藤田　純生（学生課）
　主　任　村田　祐子（教務課）
採　用（平成９年９月１日付）
　事務職員　崎山　祐子（経理課）
配置換（平成９年８月25日付）
　山崎　　修（総務課事務職員・施設課より）
嘱　託（平成９年９月11日付）
　内田　勝彦（就職課長）
退　任（平成９年８月25日付）
　山崎　　修・施設課長を解く
　（平成９年９月30日付）
　北氏　明正・学生課長（併任を解く）
退　職（平成９年８月31日付）
　井頭　八郎（事務局長付事務職員）
　（平成９年９月30日付）
　永口　憲子（施設課事務職員）
解　嘱（平成９年８月31日付）
　崎山　祐子（経理課事務職員）

（海外出張）

草野　源次郎教授（第一生薬学教室）
　＜出張期間：平成９年６月21日～７月１日＞
　トルコ・アンカラで開催の第５回国際薬学シンポジウムに参加
当麻　成人助手（保健体育）
　＜出張期間：平成９年７月５日～７月27日＞
　キューバ・ハバナで開催の第９回男子水球ジュニア選手権およびアメリカ・ロサンゼルスでの事前強化合宿にコーチとして参加
松島　哲久助教授（哲学）
　＜出張期間：平成９年８月18日～９月８日＞
　イタリア・パドヴァで開催の第11回ヨーロッパ医学ヘルスケア哲学会に出席
　ヨーロッパの医学教育・制度についての調査研究

森本　一洋助教授（第二薬剤学教室）
<出張期間：平成9年9月19日～9月27日>
中国・北京で開催の CRS-CPA Joint Workshop on Recent Advances in Drug Delivery Science and Technology で発表
韓国・ソウルで開催の KSP and CRS Joint Symposium on Recent Advances in Drug Delivery and Biomaterials で発表

黒田　和道助教授（第二微生物学教室）
<出張期間：平成9年9月21日～10月3日>
アイルランド・ダブリンで開催の Conference on Negative Strand Viruses に出席
Marburg 大学訪問

<海外留学>

友尾　幸司助手（第二物理化学教室）
<留学期間：平成9年11月2日～平成10年10月31日>
ドイツ　ベルリン自由大学へ留学
研究テーマ「生体内機能性高分子の立体構造解析と機能研究」

***************

## ◇ 行　事 ◇

### ■ 人権に関する特別講演会

人権を学んでいく活動の一環として，人権委員会企画，本学主催の第1回特別講演会が，去る11月17日(月)午後2時50分から本学の講堂で開催された。

演者に，大阪大学名誉教授の脇田修先生をお招きして，「人権の世紀に向けて一歴史と人権」のテーマで講演していただいたが，学生（1年次生）と教職員の多数が参加し，講堂に入り切れないほどの盛況であった。

なお，このような人権に関する講演会等の行事は今後継続して催されることになっている。

### ■ 消防訓練

平成9年12月3日(水)消防訓練が実施されました。

午前10時に研究棟4階で出火したとの想定で開始され，講義中の学生を含め，消火・避難訓練が行われました。今回は，消防署による，はしご車等を使った救出訓練も併せて実施されました。避難完了後，グラウンドにて実地の消火訓練の後，消防署員による屋内消火栓の取扱い説明，教職員・大学院生による放水訓練を行いました。

### ■ 実験動物慰霊祭

平成9年12月12日(金)講堂において日頃実験動物を取り扱っている教職員・学生等約200名参加のもと，実験動物慰霊祭がしめやかに執り行われました。

## ホームページについて

広報委員会

昨年よりホームページの開設について検討した結果，今年度予算でファイヤーウォール設置を要求することになり，これが認められました。今年度に入り，早速ファイヤーウォールを設置し，ホームページ作成のためのワーキンググループを設けて6月には試作品が出来上がりました。
しかしながら，大阪薬科大学のホームページの質，正確な情報，責任等について考えた場合，公開する前に，ホームページ作成に当たっての「基本的な考え方」，「作成要領」を作っておく必要があると考えて，広報委員会でこれらについての案を作成し，10月末の教授会で決定されました。

すでに出来ている試作品は，この「基本的な考え方」に照らした上，間もなくホームページを公開する予定になっています。

# 平成８年度卒業者の進路状況並びに平成９年度卒業予定者の進路（中間）状況

就職部長　森　逸男

●「平成８年度卒業者（第44期生）進路状況」について

バブル崩壊後の景気後退は，緩やかながら回復の兆しが見え隠れし，ごく最近での雇用状況に多少明るさが見え始めていますが、薬学生を取り巻く就職戦線は年と共に激化しているようであります。

このような中での，平成９年３月14日卒業の第44期生，289名（男子95名，女子194名）についての進路状況を表Ⅰ（平成９年３月31日現在）としてまとめ表Ⅰに見られますように，就職状況を報告させて頂きます。

1) 薬業関連企業への就職は，男子希望者30名に対し，就職決定者30名とパーフェクトで，女子の希望者49名に対し，決定者46名（94%），とりわけ，内勤領域（研究・開発，学術，品質管理，管理薬剤師）への就職決定が益々狭き門となっております。一方，女子医薬情報担当者（Medical Representatives: MR）は，年々増加の傾向にあります。

2) 病院，研修生など医療機関への就職は，希望者男女計106名に，決定者79名（75%）で，医薬分業の進展に比例して，医療機関への就職は益々狭き領域になっています。

3) 薬局・小売業などへの就職は希望者男女計15名に，決定者は38名（253%）で売手市場のフォローの風が吹いております。

4) 公務員職域では希望者26名に，決定者は11名（42%），大学院への進学は，希望者34名に，決定者38名と100%を越えました。

5) その他34名の内分けの中で薬剤師免許取得を第一義と考える学生の増加が見られ，薬剤師免許取得後で就職状況を見ますと，平成８年度卒業者289名の就職はほぼ100%の就職率を示しております。

一方，大学院生（30名）の就職は各担当教員の指導のもと，100%の就職率ですが，職種内容の多様化で，「量」より「質」の面が厳しくなってきております。

表Ⅱには，これら就職先の詳細を第21期大学院修了生（平成９年３月修了）とともにまとめ表しました。

●「平成９年度卒業予定者（第45期生）の進路状況」について

平成９年度に入り，昭和48年度より続いておりました大学と企業との就職協定が24年ぶりに廃止され，「協定なき就職戦線」が始まりました。

この就職協定の廃止，就職意識の著しい変化に対応すべく新４年次生に，早目の就職ガイダンス（既に３回実施）と学生一人ひとりの個性にあった職種の選択を意図して，『個人面談』を就職部員（赤木，松村(瑛)，土井(光)各委員）の協力のもと３月15日，17日，19日，22日の４日間，面接指導を試みてみました。この『個人面談』は，以前私が平成２年に就職部長を経験させて頂きました時より始め，以後歴代の就職部長により行われていまして，製薬企業，医療機関関係者の方々との感触などを交えながら，有意義な就職活動を目指すべく，企業の名前やイメージに取らわれることなく，自己の能力や適性に合った就職先の分析の必要性などについて面談を通じて指導しております。

表Ⅲは『個人面談』による就職進路希望調査状況で，現４年次在学生は342名（男子107名，女子235名）と昨年度に比べて多く，薬学生をとりまく就職戦線の激化により，各学生諸君の就職希望状況に合致した満足のいく就職結果が得られるか否か危惧されます。取り分け，『個人面談』などでも見られました女子の病院薬剤師を始めとする医療業務への就職希望者数の激増が特徴的で，これら病院などへの就職は欠員補充に止まることより大きな転機かと考えられます。

なお，今年の就職状況はマスコミなどで周知のように，従来の就職協定に代え，大学側は「平成９年度大学及び高等専門学校卒業予定者に係る就職事務について」(申合せ）及び企業側は「新規学卒者採用・選考に関する企業の倫理憲章」によるなど，双方がそれぞれ尊重して努めるように就職活動を行っています。このため「協定なき就職活動」の時代を迎え，例年と比べ企業の選考時期の早期化，一部長期化，あるいは追加再募集の状況などの現象が現わ

れてきております。

本年度の就職活動は，すでに５月頃より製薬企業と一部調剤薬局訪問の開始で活発化して，昨年度にも増して深刻な就職戦争になっております。

表Ⅳで平成９年度卒業予定者（第45期生）の進路状況の中間報告をさせて頂きます。

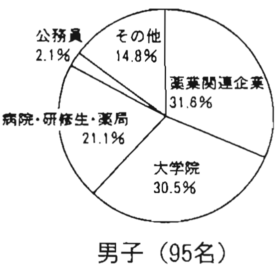
本年度の就職状況の特徴で，予測されたように企業の内勤領域あるいは病院薬剤師の就職内定者の激減と，調剤薬局，ドラッグストアーなどへの求人数の増加など，学生の希望状況に相反して大きなギャップが見られます。さらに，近年，これら就職に際して企業は勿論のこと病院，薬局などにおいても学生の目的意識やマナーなどが重視され，今後の学生諸君に対する就職指導への重要項目かと考えられます。

何れにしても，就職は人生を左右する重要な事であり，一人でも多くの学生が希望する先へ就職ができるよう努力させて頂くつもりではありますが，何分にも相手があること，就職に関し学生諸君自らの努力は勿論のこと，各ご家庭との連絡，協力の必要性が痛感されます。今後とも，さらなる父兄各位のご協力とご援助，ご指導をお願いする次第です。

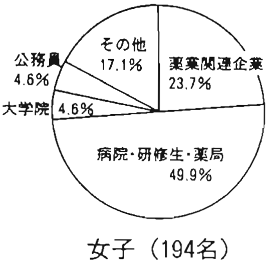
表Ⅰ　平成８年度卒業者（44期生）進路状況

（平成９年３月31日現在）

| 区分 | 男子 | % | 女子 | % | 計 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 薬業関連企業（営業） | 24 | 25.3 | 19 | 9.8 | 43 | 14.9 |
| （内勤） | 6 | 6.3 | 27 | 13.9 | 33 | 11.4 |
| 病院・診療所 | 7 | 7.4 | 59 | 30.4 | 66 | 22.8 |
| 研修生 | 4 | 4.2 | 9 | 4.6 | 13 | 4.5 |
| 薬局・小売 | 9 | 9.5 | 29 | 14.9 | 38 | 13.1 |
| 公務員 | 2 | 2.1 | 7 | 3.6 | 9 | 3.1 |
| 教職員 | | | 2 | 1.0 | 2 | 0.7 |
| 大学院・研究生 | 29 | 30.5 | 9 | 4.6 | 38 | 13.1 |
| 自家業・不就職 | 2 | 2.1 | 4 | 2.1 | 6 | 2.1 |
| 非常勤（病院） | 1 | 1.1 | 6 | 3.1 | 7 | 2.4 |
| その他 | 11 | 11.6 | 23 | 11.9 | 34 | 11.8 |
| 計 | 95 | 100.0 | 194 | 100.0 | 289 | 100.0 |




男子（95名）




女子（194名）

表Ⅱ　44期生（平成９年３月卒業）進路一覧

（平成９年３月31日現在）

［薬業関連企業・その他］

| | | | 男子 | 男子 | 女子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 計 | 内勤 | 営業 | 内勤 | 営業 |
| 1 | 天藤製薬 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 上野製薬 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 3 | エーザイ | 1(1) | 0 | 1(1) | 0 | 0 |
| 4 | エルメッド・エーザイ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 5 | 小野薬品工業 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 6 | カイゲン | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 7 | 科研製薬 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 8 | 片山化学工業 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 鐘紡薬品 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 10 | カーヤ | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 11 | キョーリン製薬 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 12 | キリンビール | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 13 | グラクソ三共 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 14 | 健栄製薬 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 15 | 興和 | 2(1) | 0 | 2(1) | 0 | 0 |
| 16 | 笹岡薬品 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 17 | 佐藤薬品工業 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 18 | サラヤ | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 19 | 沢井製薬 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 20 | 三共 | 4 | 0 | 3 | 1 | 0 |
| 21 | 三笑堂 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 22 | シオエ製薬 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 23 | 滋賀県製薬 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 24 | 仁丹ドルフ | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 25 | 新日本薬品 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 26 | 住友製薬 | 3 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 27 | セブンツーセブン | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 28 | ゼネカ薬品 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 29 | セレス | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 30 | 第一製薬 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 31 | 大正製薬 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 32 | 大同ほくさん | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 33 | ダイナボット | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 34 | 大日本製薬 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 35 | 武田薬品工業 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 36 | 武田分析研究所 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 37 | 田村薬品工業 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 38 | 中外製薬 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 39 | ツムラ | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 40 | 帝国製薬 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 41 | 帝人 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 42 | 東京田辺製薬 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 43 | 日本ウエルカム | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 44 | 日本グラクソ | 3 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 45 | 日本臓器製薬 | 1(1) | 0(1) | 0 | 1 | 0 |
| 46 | 日本たばこ産業 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 47 | 日本粉末薬品 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 48 | 日本ベーリンガーインゲルハイム | 5(2) | 0(2) | 2 | 0 | 3 |
| 49 | 日本レダリー | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 50 | ノボノルディスクファーマ | 1(1) | 0 | 1(1) | 0 | 0 |
| 51 | 阪大微生物病研究会 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 52 | 菱山製薬 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 53 | 日野薬品 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 54 | 藤沢薬品工業 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 55 | 扶桑薬品工業 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 56 | フマキラー | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 57 | 北陸製薬 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 58 | 丸石製薬 | 2(1) | 1(1) | 0 | 0 | 1 |
| 59 | 萬有製薬 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 60 | 三井製薬工業 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 61 | 持田製薬 | 0(1) | 0 | 0(1) | 0 | 0 |
| 62 | 六陽製薬 | 0(1) | 0 | 0 | 0(1) | 0 |
| 63 | ロート製薬 | 0(1) | 0(1) | 0 | 0 | 0 |
| 64 | 山之内製薬 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | ・ | | | | | |
| 1 | ソニー・コンピューターエンターティメント | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 2 | 薬事日報社 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 合計 | 76(21) | 6(16) | 24(4) | 27(1) | 19 |

| [薬局・小売] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | あおば薬局 | 2 | 0 | 2 |
| 2 | 朝日薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | アリタ回生堂薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | イレブン | 1 | 1 | 0 |
| 5 | ウイステリア | 1 | 0 | 1 |
| 6 | エーエムサポート紀北薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 7 | エムエム薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 8 | 京都シグマプラン(あゆみ薬局) | 1 | 0 | 1 |
| 9 | 厚仁会薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 10 | コクミン | 1 | 0 | 1 |
| 11 | ゴダイ薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 12 | 宏和 | 1 | 0 | 1 |
| 13 | 神薬堂 | 1 | 0 | 1 |
| 14 | セガミメディクス | 3 | 2 | 1 |
| 15 | そうごう薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 16 | テイ・エム薬局 | 1 | 1 | 0 |
| 17 | 東光第一薬局 | 1 | 1 | 0 |
| 18 | 中津川薬剤師会調剤薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 19 | ナガタ薬品(北神中央調剤薬局) | 1 | 0 | 1 |
| 20 | 光薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 21 | 南予調剤 | 1 | 0 | 1 |
| 22 | モロオ | 1 | 1 | 0 |
| 23 | 阪神調剤薬局 | 4 | 0 | 4 |
| 24 | ヒグチ産業 | 1 | 1 | 0 |
| 25 | 平和堂 | 1 | 0 | 1 |
| 26 | ベガメディカル商事(くるみ薬局) | 1 | 0 | 1 |
| 27 | フォルサム | 1 | 0 | 1 |
| 28 | ポプラ | 1 | 1 | 0 |
| 29 | ぽぷら薬局 | 1 | 0 | 1 |
| 30 | みどり | 1 | 0 | 1 |
| 31 | メディアック(ひまわり薬局) | 1 | 0 | 1 |
| 32 | 薬明館 | 1 | 1 | 0 |
| | ・ | | | |
| 1 | 自家業 | 2 | 2 | 0 |
| | 合計 | 40 | 11 | 29 |

| [病院] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 青葉丘病院 | 2 | 0 | 2 |
| 2 | 尼崎中央病院 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | 育和会記念病院 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 石切生喜病院 | 1 | 0 | 1 |
| 5 | 医真会八尾総合病院 | 2 | 1 | 1 |
| 6 | 井上外科病院 | 1 | 0 | 1 |
| 7 | 大阪掖済会病院 | 2 | 0 | 2 |

| | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 近江温泉病院 | 1 | 0 | 1 |
| 9 | 小曽根病院 | 1 | 0 | 1 |
| 10 | 音羽病院 | 1 | 0 | 1 |
| 11 | 貝塚サナトリウム | 1 | 1 | 0 |
| 12 | 金井病院 | 2 | 0 | 2 |
| 13 | 河内総合病院 | 1 | 0 | 1 |
| 14 | 協和会病院 | 2 | 0 | 2 |
| 15 | 近畿地方医務局 | 1 | 0 | 1 |
| 16 | 錦秀会病院 | 1 | 0 | 1 |
| 17 | 健和会病院 | 0(1) | 0(1) | 0 |
| 18 | 神戸海星病院 | 1 | 0 | 1 |
| 19 | 七山病院 | 1 | 1 | 0 |
| 20 | シミズ病院 | 1 | 0 | 1 |
| 21 | 城山病院 | 1 | 0 | 1 |
| 22 | 新阿武山病院 | 1 | 0 | 1 |
| 23 | 神鋼病院 | 1 | 1 | 0 |
| 24 | 住友病院 | 1 | 0 | 1 |
| 25 | 聖友病院 | 1 | 0 | 1 |
| 26 | 摂津医誠会病院 | 1 | 0 | 1 |
| 27 | 第一病院 | 1 | 0 | 1 |
| 28 | 田井城吉村内科病院 | 1 | 0 | 1 |
| 29 | ダイワ会病院 | 1 | 0 | 1 |
| 30 | 津生協病院 | 1 | 0 | 1 |
| 31 | 曙生会脳神経外科病院 | 1 | 0 | 1 |
| 32 | 天理よろづ相談所病院 | 1 | 0 | 1 |
| 33 | 土肥病院 | 1 | 0 | 1 |
| 34 | 鳥潟病院 | 1 | 0 | 1 |
| 35 | 中谷病院 | 1 | 0 | 1 |
| 36 | 長吉総合病院 | 1 | 0 | 1 |
| 37 | 西宮回生病院 | 1 | 0 | 1 |
| 38 | 西宮協立脳神経外科病院 | 1 | 1 | 0 |
| 39 | 日本赤十字和歌山医療センター | 1 | 0 | 1 |
| 40 | 服部記念病院 | 1 | 0 | 1 |
| 41 | 阪堺病院 | 1 | 0 | 1 |
| 42 | 東大阪病院 | 1 | 0 | 1 |
| 43 | 彦根中央病院 | 1 | 0 | 1 |
| 44 | 姫路市医師会 | 1 | 0 | 1 |
| 45 | 平尾病院 | 1 | 0 | 1 |
| 46 | 福山第一病院 | 1 | 1 | 0 |
| 47 | 藤枝平成記念病院 | 1 | 1 | 0 |
| 48 | 藤井病院 | 1 | 0 | 1 |
| 49 | 府中病院 | 1 | 0 | 1 |
| 50 | ベルランド総合病院 | 0(1) | 0 | 0(1) |
| 51 | 邦和病院 | 1 | 0 | 1 |
| 52 | 松下記念病院 | 2 | 0 | 2 |
| 53 | 松山市民病院 | 1 | 0 | 1 |
| 54 | 松山赤十字病院 | 1 | 0 | 1 |
| 55 | 三豊総合病院 | 1 | 0 | 1 |
| 56 | 明治橋病院 | 1 | 0 | 1 |
| 57 | 淀川キリスト教病院 | 2 | 0 | 2 |
| 58 | ユニチカ中央病院 | 1 | 0 | 1 |
| 59 | 若弘会病院 | 1 | 0 | 1 |
| 60 | 分野病院 | 1 | 0 | 1 |
| 61 | 吉田総合病院 | 1 | 0 | 1 |
| | 合計 | 66(2) | 7(1) | 59(1) |

| [研修生] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大阪大学医学部附属病院 | 3(1) | 1(1) | 2 |

| | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 京都大学医学部附属病院 | 2 | 1 | 1 |
| 3 | 神戸大学医学部附属病院 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 滋賀医科大学医学部附属病院 | 1 | 0 | 1 |
| 5 | 東京医科歯科大学医学部附属病院 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 広島大学医学部附属病院 | 1 | 0 | 1 |
| 7 | 山口大学医学部附属病院 | 2 | 2 | 0 |
| 8 | 和歌山県立医科大学附属病院 | 2 | 0 | 2 |
| | 合　計 | 13(1) | 4(1) | 9 |

[大学院]

| （博士課程前期） | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大阪大学 | 3 | 1 | 2 |
| 2 | 大阪薬科大学 | 23 | 18 | 5 |
| 3 | 岡山大学 | 2 | 2 | 0 |
| 4 | 京都大学 | 6 | 6 | 0 |
| 5 | 神戸学院大学 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 筑波大学 | 1 | 0 | 1 |
| 7 | 徳島大学 | 1 | 1 | 0 |
| | 合　計 | 37 | 28 | 9 |

[大学院]

| （博士課程後期） | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大阪大学 | 0(1) | 0 | 0(1) |
| 2 | 福井医科大学 | 0(1) | 0(1) | 0 |
| 3 | 兵庫医科大学 | 0(1) | 0 | 0(1) |
| | 合　計 | 0(3) | 0(1) | 0(2) |

| [研究生] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大阪薬科大学 | 1(1) | 1(1) | 0 |
| | 合　計 | 1(1) | 1(1) | 0 |

| [公務員] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大分県 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | 大阪府 | 1 | 1 | 0 |
| 3 | 奈良県 | 1 | 0 | 1 |
| | ・ | | | |
| 1 | 大阪市 | 2 | 1 | 1 |
| 2 | 富山市 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | 福山市 | 1 | 0 | 1 |
| | ・ | | | |
| 1 | 島根医科大学医学部附属病院 | 0(1) | 0(1) | 0 |
| | ・ | | | |
| 1 | 大垣市民病院 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | 福知山市民病院 | 1 | 0 | 1 |
| | 合　計 | 9(1) | 2(1) | 7 |

| [大学職員] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 東海大学 | 0(1) | 0 | 0(1) |
| 2 | 兵庫医科大学 | 2 | 0 | 2 |
| | 合　計 | 2(1) | 0 | 2(1) |

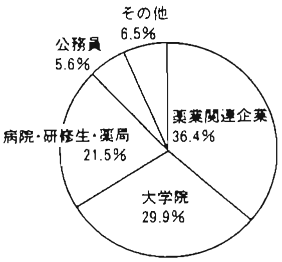
| [その他] | | 計 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 未就職 | 34 | 11 | 23 |
| 2 | 不就職 | 4 | 0 | 4 |
| 3 | 非常勤（病院） | 7 | 1 | 6 |
| | 合　計 | 45 | 12 | 33 |
| | 総 合 計 | 289(30) | 95(25) | 194(5) |

（　）は大学院生

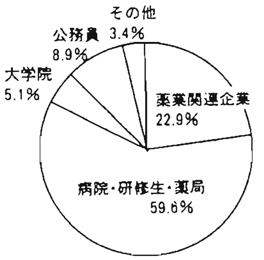
表 III　平成９年度卒業予定者（45期生）進路希望調査状況

（平成９年４月１日現在）

| 区　分 | 男子 | % | 女子 | % | 計 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 薬業関連企業（営業） | 30 | 28.0 | 17 | 7.2 | 47 | 13.7 |
| （内勤） | 9 | 8.4 | 37 | 15.7 | 46 | 13.5 |
| 病院・診療所 | 12 | 11.2 | 101 | 43.0 | 113 | 33.0 |
| 研修生 | 3 | 2.8 | 22 | 9.4 | 25 | 7.3 |
| 薬局・小売 | 8 | 7.5 | 17 | 7.2 | 25 | 7.3 |
| 公務員 | 6 | 5.6 | 21 | 8.9 | 27 | 7.9 |
| 大学院・研究生 | 32 | 29.9 | 12 | 5.1 | 44 | 12.9 |
| 自家業・その他 | 7 | 6.5 | 8 | 3.4 | 15 | 4.4 |
| 計 | 107 | 100.0 | 235 | 100.0 | 342 | 100.0 |




男子（107名）




女子（235名）

表 IV　平成９年度卒業予定者（45期生）進路状況

（平成９年11月４日現在）

| 区　分 | 男子 | % | 女子 | % | 合計 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 薬業関連企業（営業） | 27 | 25.2% | 24 | 10.2% | 51 | 14.9% |
| （内勤） | 6 | 5.6% | 19 | 8.1% | 25 | 7.3% |
| 病院・診療所 | | | 12 | 5.1% | 12 | 3.5% |
| 研修生 | | | 6 | 2.6% | 6 | 1.8% |
| 薬局・小売 | 11 | 10.3% | 30 | 12.8% | 41 | 12.0% |
| 公務員 | | | 2 | 0.9% | 2 | 0.6% |
| 教職員 | | | 1 | 0.4% | 1 | 0.3% |
| 大学院・研究生 | 34 | 31.8% | 9 | 3.8% | 43 | 12.6% |
| 自家業・その他 | | | | | | |
| 内定 | 78 | 72.9% | 103 | 43.8% | 181 | 52.9% |
| 未定 | 29 | 27.1% | 132 | 56.2% | 161 | 47.1% |
| 合計 | 107 | 100.0% | 235 | 100.0% | 342 | 100.0% |


◆ 編　集 ◆

学報ワーキンググループ

岡　源郎　池田　潔　松村靖夫　大桃善朗

土井光暢　藤田純生　占本浩三

発　行

大阪薬科大学広報委員会

〒569-11 大阪府高槻市奈佐原4-20-1
TEL（0726）90－1000（代表）
FAX（0726）90－1005
URL : http : //www. oups. ac. jp